



県高連新聞



CONTENTS

- P2～3 平成30年度 熊本県公立高等学校PTA連合会 地区別指導者研究大会報告
- P4 放課後キッキン（湧心館高校）・地域貢献活動（小川工業高校）
- P5 魅力ある広報紙を作る（第一高校・大津高校） 九高P連調査広報委員会アンケート結果
- P6 インターハイ特集
- P7 学校紹介 熊本西高等学校・甲佐高等学校
- P8 多良木高等学校閉校記念特集・熊本県PTA共済

2019
JANUARY

Vol. 45



アトラクション（第一高校 邦楽部）

中央地区の大会は十一月十七日、第一高校体育館で開催されました。全日制定時制合わせて二十一校から、百五十三人に参加して頂きました。アトラクションでは、第一高校邦楽部生徒による筝曲の演奏、今年度全日本合唱コンクール全国大会で銀賞を受賞した、音楽部生徒による合唱が披露されました。教育方針である「凜とした気品のある心靈かな一高校の育成」を体现した、見事な演奏でした。

会場設営や撤収、会場内外の清掃を行つてくれた本校部活動の生徒、大会準備や運営に携わった、本校PTAの好文会役員や会員の方々に感謝申し上げます。



研究発表（水俣高校PTA）

基調講演では、お金で学ぶさんと合唱は参加した皆様の心に響いたことだと思います。

開会行事では、県高P連前会長と合唱は参加した皆様の心に響いたことだと思います。

熊本工業高校保護者会の久保田慶子会長が「生徒の健全育成とPTA活動」、松橋高校PTAの岸英治会長が「松高 最高!!」をそれぞれテーマにして発表していました。発表後には県教育総務局社会教育課長の井芹護利がPTA活動報告・研究発表では、

講評を頂きました。

閉会行事では、中央地区次期幹事長の宮崎紀男様から、ご挨拶を頂きました。

会場設営や撤収、会場内外の清掃を行つてくれた本校部活動の生徒、大会準備や運営に携わった、本校PTAの好文会役員や会員の方々に感謝申し上げます。



「読む広報紙から、見る広報紙へ」の取組み

私たち大津高校のPTA広報紙「いちょう」は、各学年から4名、計12名のPTA広報委員で年間3回、平均1200部を発行しております。各号毎にテーマを決め企画・編集会議を行い、仕事に子育てと忙しい中でもそれぞれが各担当の紙面づくりに取り組んできました。しかし、どんなに頑張つても手に取ってもらわなければ意味がない・・・学期毎の終業日、生徒に配布していた広報紙が保護者の手元に確実に届いていないという現実がありました。そこで昨年度は配布方法の改革から取り組みました。まず、長年同じ印刷会社への発注だった為、改めて見積もりを取り直し、従来の硬い紙質から柔らかい紙質へ変更し、さらに紙質を落としたことでコストを抑えた分、フルカラーに変更きました。それから、委員で三つ折り後、各担当の先生が学期末の成績票に同封して郵送することで確実に保護者の手元に届けることができるようになりました。更にパターン化していた表紙やレイアウトの改革も行いました。パターン化していた表紙、題字を大きく変えるということは思っていた以上に大変で、何度も学校側と協議を重ねました。長年続いてきたものを大きく変えるということはそれだけ大変なことなのだと改めて感じました。しかし、日々チャレンジし、成長し続ける子ども達の姿を、広報紙という形で保護者に届けられる役割はとてもやりがいを感じることができます。その結果、熊日新聞コンクール高校PTA新聞の部でグランプリを頂いたことは委員一同、最高の「おまけ」だったと喜んでおります(笑)

今年度の大津高校のPTAテーマは「応援団」~明るく、楽しく、元気よく~です。どんな時も子ども達の応援団としてサポートしていくようこれからも活動を続けていきたいと思います。

大津高校PTA会長 上藤・広報委員一同



新聞作りについて



第一高校の保護者会である好文会の総務委員は現在28名で活動しています。熱意あふれる委員さんに恵まれ毎回充実した活動を行っています。毎年3回広報紙を発行し、次号で110号の発行を迎めます。

記事を掲載する上で気をつけていることは連載などの毎号連載していく内容と企画などの新しく盛り込む内容とのバランスです。連載している記事は「白梅乙女の今」「白梅男子の今」です。第一高校を卒業した白梅乙女、男子に取材したり原稿依頼をして高校当時の思い出や現在の仕事、進路についてのアドバイスなどをいただいている。来年は、平成24年に34年ぶりに入学した白梅成男子が大学を卒業するので彼らを取材できるのが本当に楽しみです。

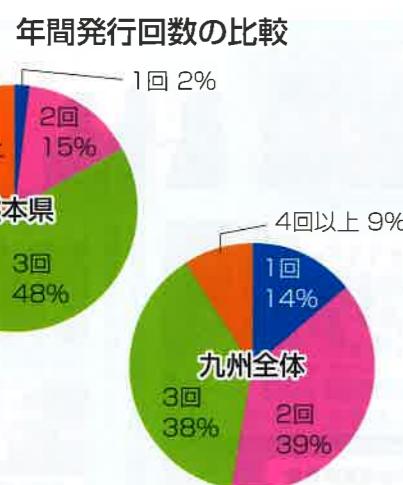
今年の2学期号の特集企画は、「聞きたいけど聞けなかつた!!進学とお金」です。在校生の保護者から聞きたいことを募集し、それについて卒業後に進学させた先輩保護者に答えていただきました。この特集を含む広報紙「好文第110号」は2学期終業式に配布予定です。

今後の課題は配布した広報紙を100%保護者まで届けることです。

一番嬉しかったことは、先生方も生徒たちも発行を楽しんでいてくれることです。今後も第一高校広報紙「好文」には是非期待して頂きたいと思います。

第一高校好文会総務委員長 吉岡 尚子

九州地区高等学校PTA連合会調査広報委員会による各学校広報紙作成に関するアンケート集計結果報告



去る11月9日において、九州地区高等学校PTA連合会の第2回4委員会が開催されました。その中で調査広報委員会においては、以前、九州各県（8県）の各公立高等学校宛に、広報紙に係るアンケート調査をお願いしました。その調査結果の取りまとめを、熊本県が担当することになり、熊本県高連事務局により集計をしていただきました。その結果、加盟校569校中509校の返信があり、約90%の回答率となりました。

熊本県におきましては100%の回答をいただくことができ、集計担当県として喜ばしいものとなりました。

年間発行回数は平均で2.4回でしたが、熊本県においては、3.2回という結果でした。これは九州各県の中で一番多く、県内58校中54校が発行している結果となりました。広報紙をHP（ホームページ）にアップする学校もあり、そのほとんどが学校運営のHPに掲載されているようです。割合的には11%程度低いことも判りました。学校行事を通してのPTA活動等を記事とした広報紙は、保護者ばかりではなく、周辺の小中学校や公共団体へも配布され、地域との連携はもちろん、次年度の新入生の募集広告としても大きく活用されていることがわかりました。

しかし、近年問題となっている個人情報の流出などがあることから、安易にHPを活用とまではいかないケースが多くあるようです。

**「やりたいこと」を、磨く。
技は強し。**

学校法人
開新学園

熊本工業専門学校

自動車整備
工学科 80名

電気
システム科 40名

機械
システム科 40名

21世紀に求められる豊かな人間性と
クリエイティブな人材育成を
めざします

職業実践専門課程
全学科

〒861-8038 熊本市東区長嶺町5丁目1番1号
TEL 096 380 8645 FAX 096 380 8646

電子メール info@kumakosen.jp
ホームページ http://www.kumakosen.jp

0120-00-8645

QRコード



「放課後キッチン」 熊本県立湧心館高等学校

湧心館高校では、保健部の先生方と育友会がタイアップして、食育プロジェクト「放課後キッチン」に取り組んでいます。この取組は平成28年度から始め今年で3年目になりました。生徒たちは様々な家庭環境の中で、家に帰ると一人であったり、偏った食生活を送っていたりということがあります。その状況をふまえ、少しでも食に対する楽しく考えてほしいということを思い、始めました。

この取組の目的は、栄養のバランスを考え、健康的に食生活を送るきっかけを生徒に与え、簡単な日常食をつくる力と意欲を身につけさせること。また、季節を感じながらみんなと一緒に食事をとる楽しさや大切さを学び、次世代へ日本文化を伝承する力と豊かな心を育てたい、と思っています。毎回30名ほどの生徒・保護者が参加しています。放課後キッチンは、生徒の参加希望者の中から、実行委員を各学年3名程度募り、運営します。材料の買い出しや、調理の流れの説明等をおこないます。しかし、生徒や先生方での運営には限界もあるため、育友会では材料費等の支援や、当日生徒達と一緒に楽しく調理をしたりしています。

今年度は、7月4日 調理の様子

日に第1回（年3回実施予定）の放課後キッチンを行いました。テーマは、「七夕そめん～あなたの彦星さま、乙姫さまはだれ？～」。約30名の生徒と育友会が参加し、楽しい時間を過ごすことができました。今回の材料は手に入りやすいものばかりで、少しアレンジを加えて七夕を楽しめるメニュー。うずらの卵とピーチヨウズやゴマ、のりを使って、彦星さま、乙姫さまにアレンジ。そめんは天の川、輪切りのおくら、型抜きしたハム・チーズは星に見立て、色合いと栄養バランスを考えて、トマトを盛り付けました。生徒達からは「今回初めて参加してみてとても楽しかった。次回も参加したい。」「班の人と楽しく作り、一緒に食べられたのでよかったです。」などの声も聞かれました。

現在では、お店に行けば、おいしいものがたくさんありますが、家にあるものを使ってちょっと手を加えるだけで食卓が華やかになり、家族や友だちとの会話も弾み、心が癒されます。そんな心の豊かさを少しでも生徒に知ってもらいたいと思っています。また、生徒が成長して親になった時、今回のことを見出していくことを子どもたちへ伝えってくれることを願っています。



「ものづくり教育による地域貢献活動」 熊本県立小川工業高等学校

小川工業高校では、人の役に立つ仕事をする志を育成するために、地域の小学生を対象としたプログラミング教室や、エコ電力の出前授業、特別支援学校で障がいを持つ方々がボッチャ競技に使用するランプ（ボールを転がすためのレール）の製作など、地域の方々と交流を深めながら、ものづくりによって地域に貢献する活動に職員と生徒一丸となって取り組んでいます。

今年度から新たな取組として、イノシシ捕獲のプロジェクトをスタートしました。宇城地域でも野生のイノシシによる被害が深刻化しています。イノシシがもたらす課題に対して三角町の方々が立ち上がり「くまもと☆農家ハンター」が結成されました。イノシシの捕獲から獣肉の有効活用まで地域協働で取り組むプロジェクトですが、本校では、今年度から、イノシシ捕獲用の鉄製箱罠の製作に溶接技術を活用して取り組んでいます。農家ハンターの方々から、イノシシ被害の実態、イノシシの生態、獣

肉の有効活用、捕獲について授業をしていただき、捕獲作戦を研究しています。散弾銃などでの捕獲は、食肉には不向きです。どう猛で警戒心の強いイノシシを捕獲する罠を研究し、製作することにより地域に大きく貢献できます。さらに、罠にセンサーやカメラ、インターネット接続などの情報技術を応用したIoTを活用することで、イノシシの生態を知ることや、捕獲の効率化を図ることができます。また、獣肉の加工についても、ものづくりで貢献できる可能性もあります。

工業高校の専門性と強みを生かし、これからも楽しみながら協働的に教育活動の充実に取り組んでいきます。今後とも御指導と御支援をよろしくお願いします。



エコ電カー(九州大会優勝)



イノシシ捕獲用罠



多良木高校PTA会長 沖松 勝彦

私は、多良木高校で三年間PTA役員をさせていただき、平成三十一年三月末に多良木高校が閉校を迎えるにあたり、感謝の気持ちを記したいと思います。昨年の五月に三年生のみの生徒六十七人と、地域の多くの皆様にご協力いただき、共に汗を流して競技を楽しんだ最後の体育大会や、V6の「愛なんだ二〇一八」の放送では、校舎の清掃をはじめ、生徒たちが閉校する多良木高校へのそれぞれの思いを主張し、全国に発信できたことは多良木高校への恩返しになつたことだと思います。

また、平成三十年夏に開催された高校野球のOB選手が目指す「マスターズ甲子園」熊本県大会において、奇しくも第百回夏の甲子園に出場した東海大星翔高校のOBチームとの決勝戦に勝利し、「マスターズ甲子園」初出場を果たすことができたことも閉校前に成し遂げた良き思い出の一つであります。

多良木高校は、今から九十六年前に女性として創立され、大正時代から激動の時代をつなぎ平成の最後となる年に閉校のゴーループを切ります。これまで地域に愛される学校として、一万九千人もの「多高生」を育てていたこと、関係する全ての皆様方へ感謝の意を表します。

私は、多良木高校で三年間PTA役員をさせていただき、平成三十一年三月末に多良木高校が閉校を迎えるにあたり、感謝の気持ちを記したいと思います。昨年の五月に三年生のみの生徒六十七人と、地域の多くの皆様にご協力いただき、共に汗を流して競技を楽しんだ最後の体育大会や、V6の「愛なんだ二〇一八」の放送では、校舎の清掃をはじめ、生徒たちが閉校する多良木高校へのそれぞれの思いを主張し、全国に発信できたことは多良木高校への恩返しになつたことだと思います。

(財)熊本県PTA教育振興財団からのお知らせ

学校管理下の事故にも対応しています。

児童生徒の皆さんのが学校管理下(登下校中を含む)で被災した場合であっても、死亡あるいは後遺障害、歯科保険外治療、交通事故等について、本共済からの共済金給付があります。ご加入の保護者(PTA会員)の方々が学校行事に参加中の事故にも対応しています。(卒業式、運動会、授業参観など。往復中の事故・交通事故も含みます。)

共済期間は・・・:学校などの年度に対応する1年間(4月1日から翌年3月31日まで)になります。本年度のご加入の方々の活動は3月31日までに実施されたものが共済の対象となります。

春休み期間のご注意:春休みの4月1日以降に、本年度の学級や学年での活動が実施された場合、共済の対象とはなりません。また中学校3年生や高校3年生などが、進学予定の高校や大学での部活動などに3月中に参加する場合も、本年度の共済の対象とはなりませんのでご注意ください。

交通事故が減りません! 命を守る努力を・・・

本共済P災コースでは、児童生徒の皆さんのが登下校中の交通事故にも共済金を給付しています。平成29年度中の交通事故に対する給付は、前年度までに報告された事故を含め計167件(うち死亡1件)で、その90%近くが高校生・高等専門学校の生徒や学生の事故になっています。ほとんどが自転車あるいはバイク乗車中の事故ですが、事故の被害者のみならず加害者にもなる可能性があります。道路交通法、自転車安全利用ルールを守り、自転車でもできればヘルメットを着用し、自分の命も周りの方々の命も守る努力をしましょう。

熊本県PTA共済に関するご質問やご連絡は…

共済の対象となる活動の範囲、事故発生時の手続き、様々な手続きに必要な書類など、お気軽にお問い合わせください。

事務局 TEL: 096-278-8811
フリーダイヤル: 0800-200-5553

編集後記

○顧問	菅田 雅之	○調査広報委員長	芹口 明
校長	翔陽高等学校	調査広報委員長	芹口 明
P.T.A会長	多良木高等学校	玉名工業高等学校	大野 豊重
PTA副会長	小川工業高等学校	鹿本商工高等学校	坂口 義治
PTA会長	同心会長	PTA会長	野中 志真
PTA副会長	済々黌高等学校	育友会会長	夏木 良博
PTA会長	多良木高等学校	PTA副会長	沖松 勝彦